

申告書の書き方(表)

令和 8 年度 (令和7年収入分) 市民税・県民税 申告書
国民健康保険料

表

※の箇所は必ず記入
令和8年1月1日時点の住所、氏名、ふりがな、生年月日、電話番号、個人番号(マイナンバー)を記入してください。

本人以外が申告する場合は、代理人氏名、続柄も記入してください。

令和7年中に収入がなかった方の記入例

・被扶養者の方(親などに扶養されている方)は(1)欄にチェック☑、扶養主の情報を記入

(1) ☒ 下記の人から扶養または援助を受けていた。

住所 同上

氏名 沖繩 一郎 続柄 父

(2) ☐ 預金等で生活していた。

・預金等で生活していた方は、(2)欄にチェック☑

(1) ☐ 下記の人から扶養または援助を受けていた。

住所

氏名 続柄

(2) ☒ 預金等で生活していた。

・障害年金を受給している方は、(3)欄の障害年金にチェック☑
(※遺族年金や雇用保険の場合は、その欄にチェック☑)

(3) ☒ 遺族年金 ☐ 障害年金 ☐ 雇用保険を受給していた。

(4) ☐ 生活保護を受けていた。

(5) ☐ (1)～(4)以外、まかなっていたが記入しなかった。

・生活保護を受けていた方は、(4)欄にチェック☑

(3) ☐ 遺族年金 ☐ 障害年金 ☐ 雇用保険を受給していた。

(4) ☒ 生活保護を受けていた。

(5) ☐ (1)～(4)以外、まかなっていたが記入しなかった。

控除を追加される方

該当する控除欄に記入。
また、控除の追加には証明書の添付が必要となります。
添付書類につきましては沖繩市HPIに掲載されている「申告に必要なもの」をご確認ください。

令和7年中に扶養している親族がいる方(扶養している場合のみ記入)

※扶養親族が別居している場合は、申告書裏面(左下)の「別居と申告した扶養親族・専従者の氏名・住所記入欄」欄に扶養親族の氏名、住所を記入してください。
※重複して扶養控除を受けることはできません。
※扶養親族に該当するかどうかは令和7年12月31日の現況によって判断します。
※対象となる親族が令和7年中に亡くなったときは、その親族の死亡時の現況によって判断します。
※源泉徴収票内に扶養している親族等の記載があっても、申告書内の右記枠内に氏名等の記載がない場合、配偶者控除や扶養控除等は適用しない場合がございますので、記載もれがないようご注意ください。

沖繩市長様	1月1日現在の住所	※沖繩市●●●●●1-1-1	個人番号	
	現住所	※1月1日現在と同じであれば空白可	電話番号	※090-●●●●●-●●●●●
	ふりがな	※ おきなわ たろう	代理人氏名	
令和 年 月 日	氏名	※ 沖繩 太郎	続柄	
提出		明・大 昭・平・令 38 年 1 月 1 日		

令和7年中に収入(所得)がなかった方の記載欄(該当するものにチェックをして必要事項を記載してください。)

(1) <input type="checkbox"/> 下記の人から扶養または援助を受けていた。	(3) <input type="checkbox"/> 遺族年金 <input type="checkbox"/> 障害年金 <input type="checkbox"/> 雇用保険を受給していた。	(4) <input type="checkbox"/> 生活保護を受けていた。	(5) <input type="checkbox"/> (1)～(4)以外の方は、昨年の生活費をどのようにまかなっていたか記入してください。
住所	氏名	続柄	
(2) <input type="checkbox"/> 預金等で生活していた。			

所得から差し引かれる金額に関する事項

⑤ 雑損控除	損害の部位・資産の種類	損害年月日	損害金額	保険などで補てんされる額	差し引かれる金額
⑥ 医療費控除	<input type="checkbox"/> セルフメディケーション	支払った医療費	円	保険料などで補てんされる金額	円
⑦ 社会保険料控除	社会保険料の種類	支払った保険料	円	社会保険料の種類	支払った保険料
	国民健康保険	円	介護保険料	円	
	後期高齢	円	その他の社会保険料	円	
	国民年金	円	合計	円	
⑧ 生命保険料控除	新生命保険料の計	円	旧生命保険料の計	円	
	新個人年金保険料の計	円	旧個人年金保険料の計	円	
	介護医療保険料の計	円			
⑨ 地震保険料控除	地震保険料の計	円	旧長期損害保険料の計	円	
⑩～⑪ 本人控除	⑩ <input type="checkbox"/> 寡婦控除 ⑪ <input type="checkbox"/> ひとり親控除	⑫ <input type="checkbox"/> 障害者控除			
	[<input type="checkbox"/> 死別 <input type="checkbox"/> 離婚 <input type="checkbox"/> 未婚 <input type="checkbox"/> 生死不明]	[<input type="checkbox"/> 身障 <input type="checkbox"/> 精神 <input type="checkbox"/> 療]			
	⑬ <input type="checkbox"/> 勤労学生控除				
	(学号)				

※ 1. 配偶者控除、扶養控除対象者が別居の場合は、裏面(左下)に氏名及び住所を記入してください。
なお、国外居住の場合、「親族関係書類」及び「送金関係書類」の提出が必要となります。
2. 配偶者控除、扶養控除は他の納税者と重複して受けることはできません。

氏名	生年月日	居住区分	障害等
沖繩 花子	32・2・2	① 同居 ② 別居 ③ 国外	口身 口精 口療
個人番号		配偶者の合計所得金額	円
⑫～⑬ 配偶者控除・同一生計者控除			
氏名	生年月日	居住区分	続柄
1 沖繩 カメ	12・1・23	① 同居 ② 別居 ③ 国外	母
個人番号		合計所得	円
氏名	生年月日	居住区分	続柄
2 沖繩 承太郎	55・5・5	① 同居 ② 別居 ③ 国外	子
個人番号		合計所得	円
氏名	生年月日	居住区分	続柄
3 沖繩 花江	17・7・7	① 同居 ② 別居 ③ 国外	子の子
個人番号		合計所得	600,000 円
氏名	生年月日	居住区分	続柄
4		① 同居 ② 別居 ③ 国外	
個人番号		合計所得	円
氏名	生年月日	居住区分	続柄
5		① 同居 ② 別居 ③ 国外	
個人番号		合計所得	円

給与・公的年金等以外の所得(※)に係る市民税・県民税の納税方法
※令和8年4月1日現在65歳未満の方は給与以外の所得

☐ 給与から差引き(特別徴収) ☐ 自分で納付(普通徴収)

特定親族特別控除を受ける方(令和8年度より新設)

※特定親族特別控除...19歳以上23歳未満の親族等(配偶者及び事業専従者、控除対象扶養親族を除く)で、前年中の合計所得金額が58万円超から123万円以下の方がいる場合に、当該親族等の所得に応じて控除を受けることができます。
(特定親族特別控除に該当する場合は、控除額の適用はありませんが、税法上の扶養としては扱われません。)

「配偶者以外の扶養親族等」欄に当該親族の氏名、生年月日、居住区分、続柄、合計所得を記入してください。

収入金額等	事業等	ア	円
	農業	イ	
	不動産	ウ	
	利子	エ	
	配当	オ	
	給与	カ	
	公的年金等	キ	
	業務	ク	
	その他	ケ	
総合課税	短期	コ	
	長期	サ	
一時	シ		

所得金額	事業等	①
	農業	②
	不動産	③
	利子	④
	配当	⑤
	給与	⑥
	公的年金等	⑦
	業務	⑧
	その他	⑨
	合計	⑩
	(⑦+⑧+⑨)	
総合課税・一時	⑪	
合計	⑫	

所得から差し引かれる金額	社会保険料控除	⑬	
	小規模企業共済等掛金控除	⑭	
	生命保険料控除	⑮	
	地震保険料控除	⑯	
	寡婦、ひとり親控除	⑰～⑱	
	勤労学生、障害者控除	⑲～⑳	
	配偶者控除	㉑	
	配偶者特別控除	㉒	
	扶養控除	㉓	
	特定親族特別控除	㉔	
	基礎控除	㉕	
	雑損控除	㉖	
	医療費控除	㉗	
	合計	㉘	
	(⑬から㉗までの計)		

担当職員が記入します

令和 年 月 日 入力済